



なぐもこ
南雲 あや子 (文責)

Q 買い物弱者を出さないための対策を



&

A どのようなことができるか、これからも考えていく



「やまぶきの集い」みんな仲良し



午後から楽しいお買い物

質問

2025年3月にも同様の質問を行った。町長答弁では、高齢者の買い物支援ニーズは高いと認識しており、「福祉バス」や「高齢者等路線バス運賃助成事業」などを実施し、公的サービス以外にも食料品確保が図られる環境にあるとの認識が示された。その後、4月から「やまぶきの集い」において買い物支援が開始され、会員数も増加し、移動中や買い物中も楽しそうにしているとの声を

聞いている。また、土樽路線バスのダイヤ改正も実施され、利用者および担当職員から使い勝手が向上したとの評価があり、要望した町民からは迅速な対応に感謝の声が寄せられている。

しかし、冬季の豪雪や熊の出没などにより、買い物環境は依然として厳しい状況にある。3月答弁で示された、①民間サービスの状況を踏まえ町社協等と連携して検討する

は何であったのか、また実施に至っているのか。②令和7年度から開始予定とされたデマンド交通導入に向けた実験はすでに始まっているのか。③高齢者に寄り添う取組みとして行うとした聞き取り調査は、どのような形で実施されたのか、伺う。

答弁

①商品を住民に届けるという観点から検討。②デマンド交通は1つの手段。令和7年度はイベントシャトルバス及びツアーバスの一般

質問

買い物支援策として傘がけられていた町内スパーの買い物バスが現在運休しており、特にマンション居住者が深刻な影響を受けている。運転手不足や人手不足により再開の見通しは立っておらず、重い荷物を背負い長距離を歩いて帰宅する高齢者の姿も見受けられる。路線バスや鉄道でカバーできない地域においては、利用者の需要に応じて運行する交通手段の構築が不可欠である。町民の笑顔と幸せを実現するため、買い物弱者を含む町民の移動手段確保を町としてどのように進めていくのか伺う。

答弁

ワンコインで乗れる路線バスや福祉バスが運行されている。町としてどのようなことができるか、これからも考えて行く。